

### 3-5 1992年10月14日東京湾付近の地震について

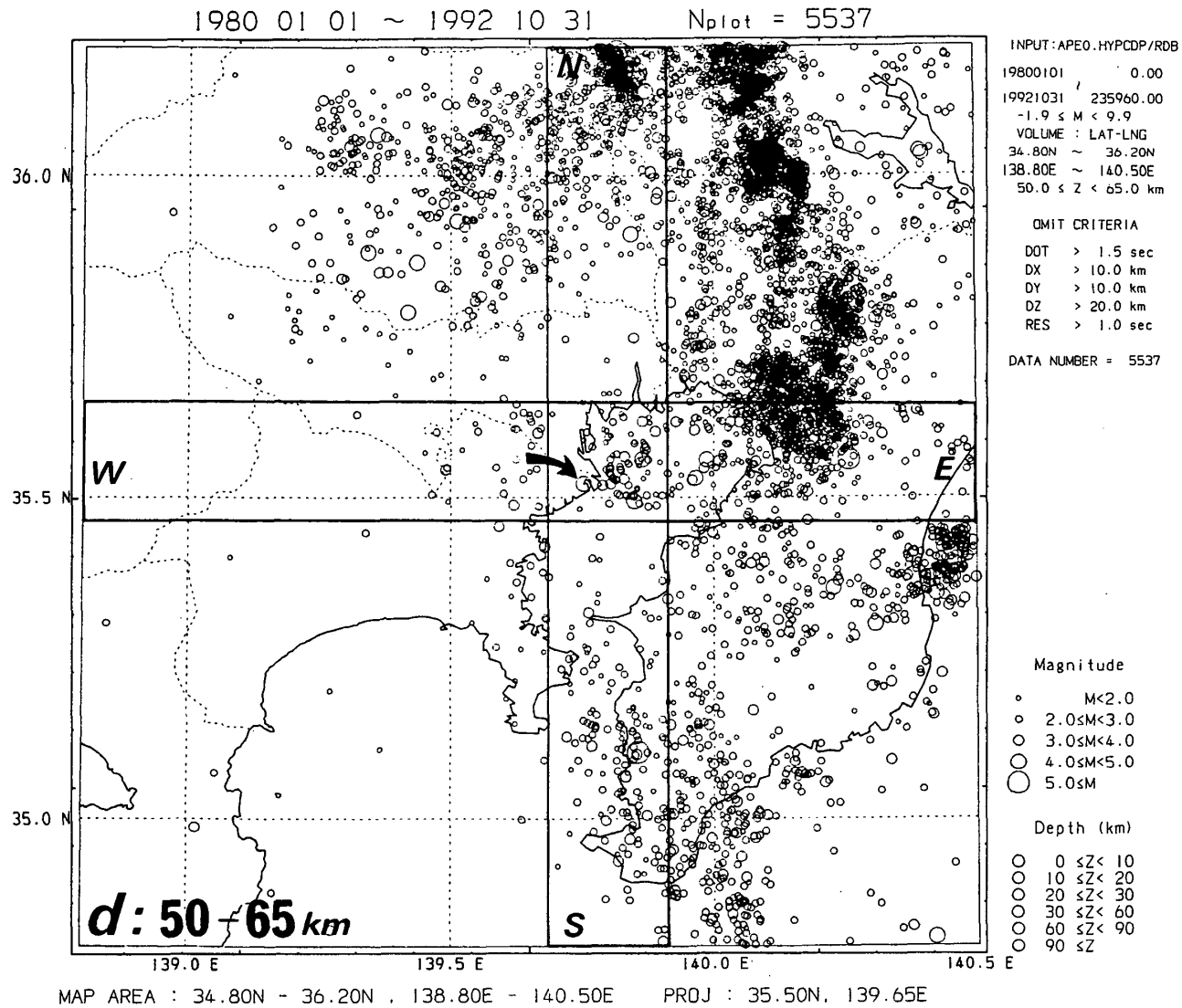
On the earthquake beneath the Tokyo Bay, October 14, 1992

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

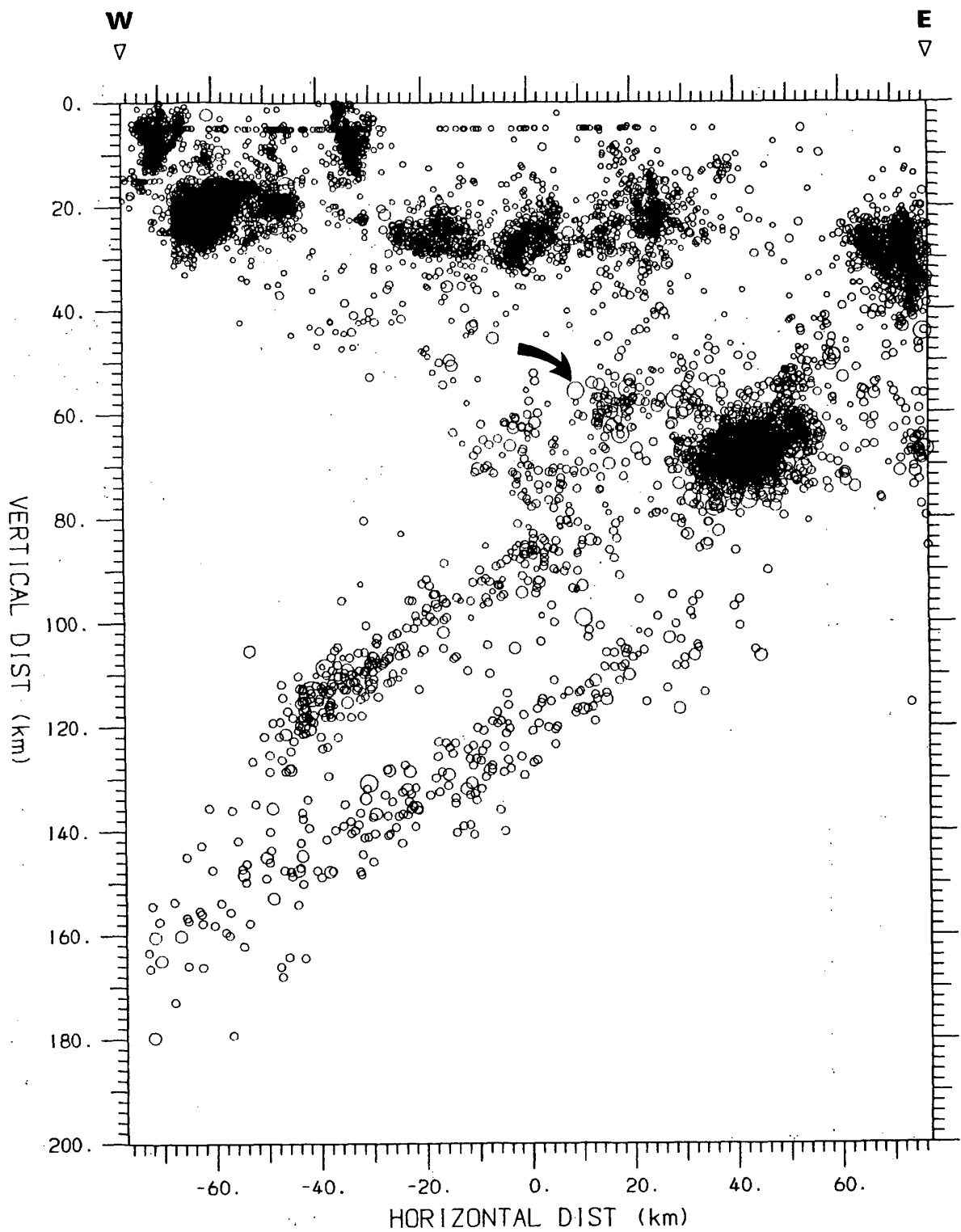
1992年10月14日14時36分、東京湾付近直下に中規模のやや深発地震が発生した。定常観測処理の結果によると、震源の深さは55.9km、マグニチュードは4.4である。震央の位置を第1図に示す。東京湾直下の深さ60km前後には若干の地震の集中がみられ、今回の地震はその活動域の西端で発生した。この活動域を含む東西断面、南北断面を第2、3図に示す。これより、今回の地震を含む東京湾直下の地震活動域は、沈み込む太平洋プレートより約20~30km上方に存在することがわかる。この活動域に含まれる主な地震の発震機構解を第4図に示す。ほとんどの地震が、北東-南西の主圧軸を持つ横ずれ型のメカニズムを示す。第5図に、この活動域における地震活動の時間変化を示す。1991年よりM4以上の地震が統発しており、やや活発化していると思われる。第6図に菅野(SGN)、中伊豆(JIZ)の広帯域地震計で観測された波形例を示す。それぞれ、PS間に変換波が観測されている。

(小原一成)



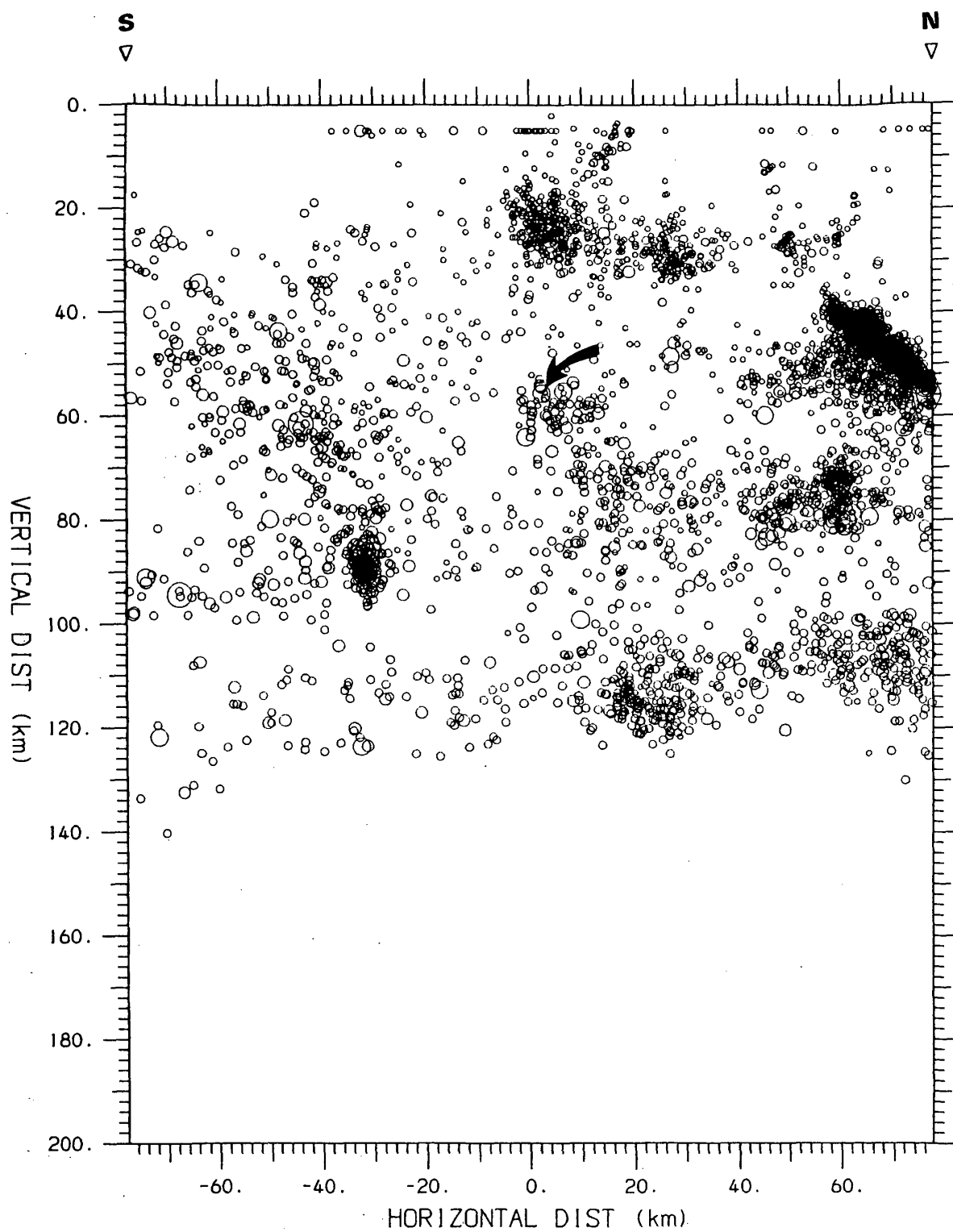
第1図 1980年1月1日から1992年10月31日までの震央分布図。深さの範囲は50~65kmである

Fig. 1 Epicentral distribution for earthquakes at the depth ranging from 50 to 65 km (January 1, 1980 - October 31, 1992).



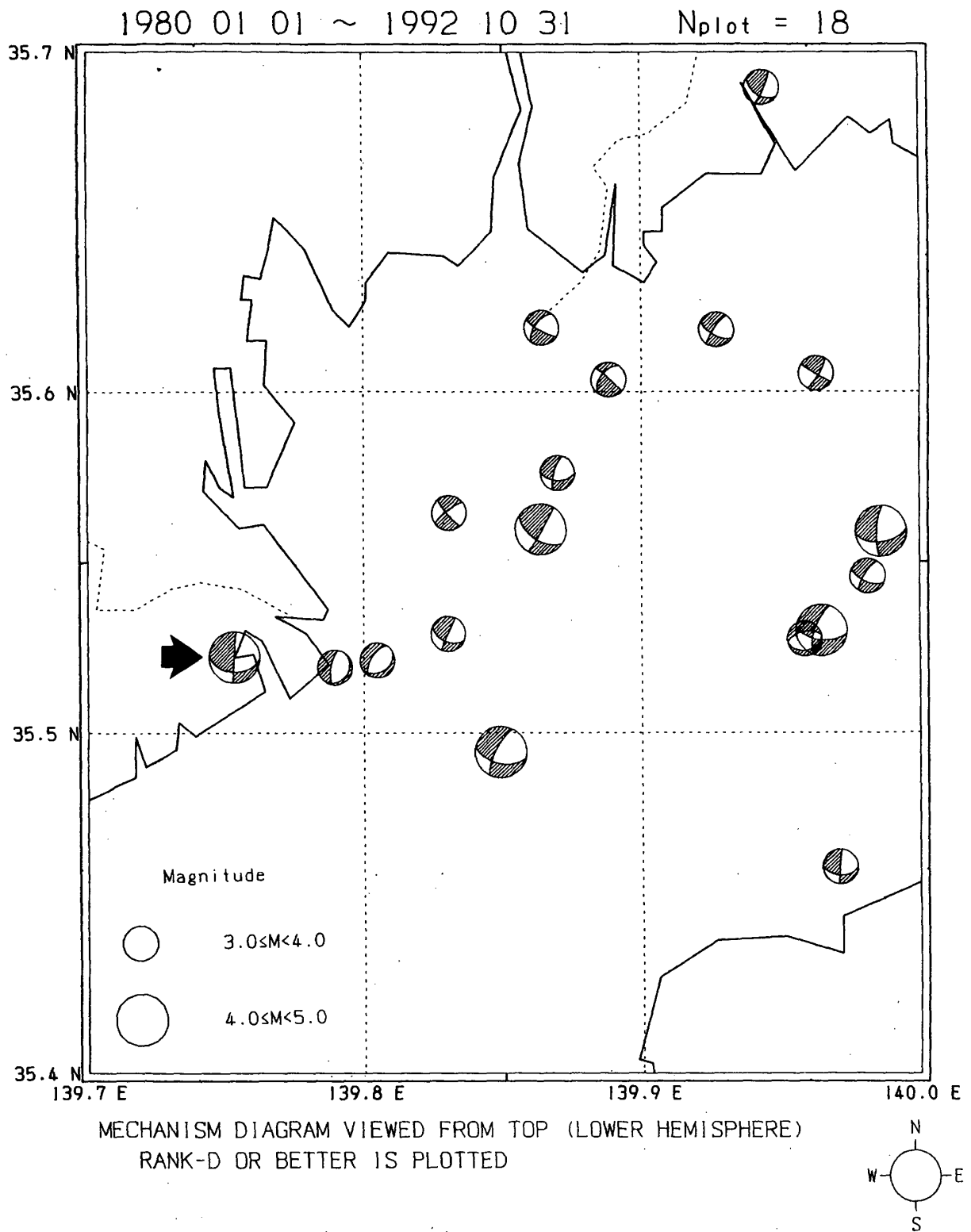
第2図 第1図に示したWE領域内で発生した地震の震源分布断面図

Fig. 2 East-west cross section of hypocentral distribution in a rectangular region WE shown in Fig. 1.



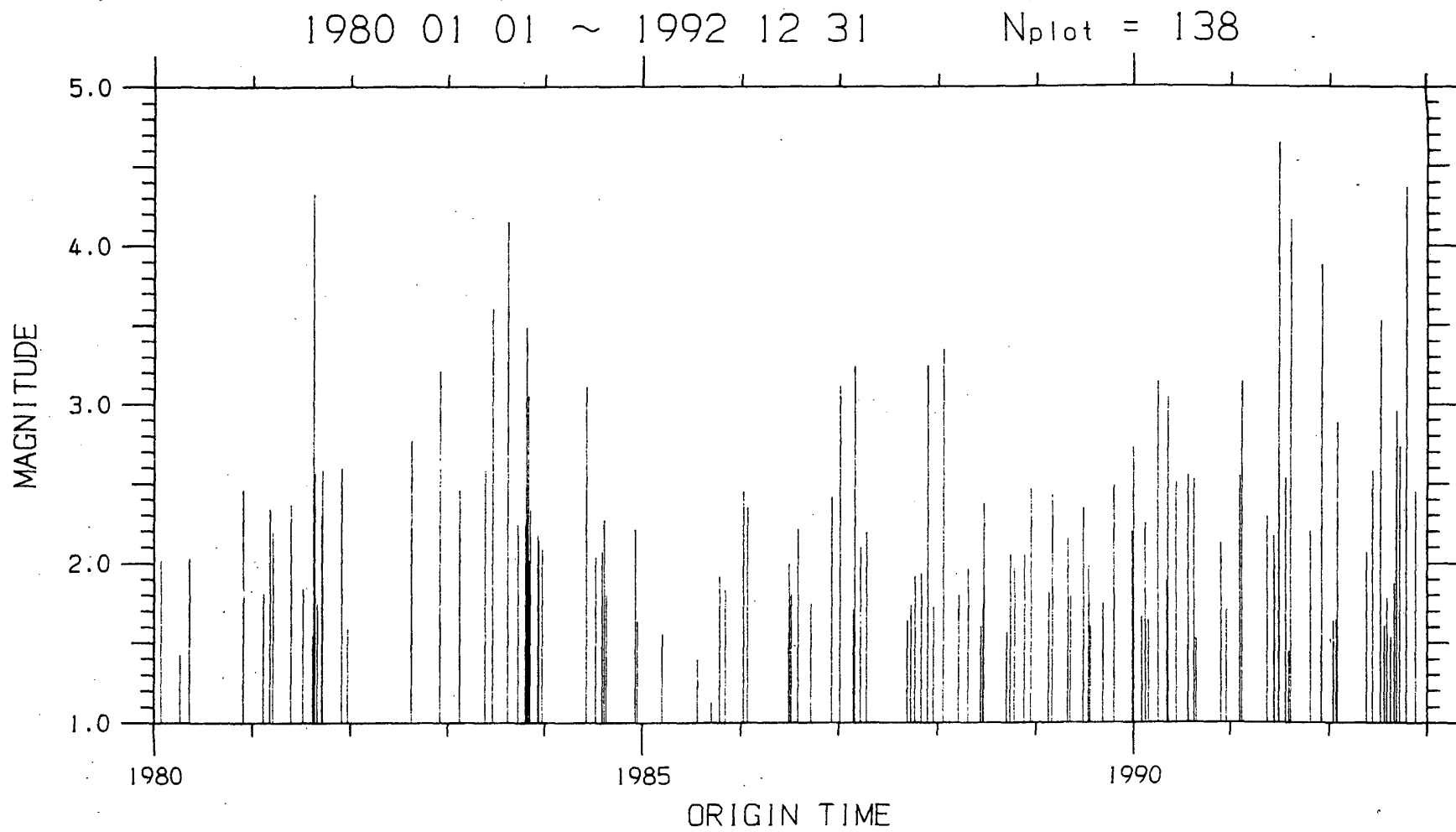
第3図 第1図に示したNS領域内で発生した地震の震源分布断面図

Fig. 3 North-south cross section of hypocentral distribution in a rectangular region NS shown in Fig. 1.



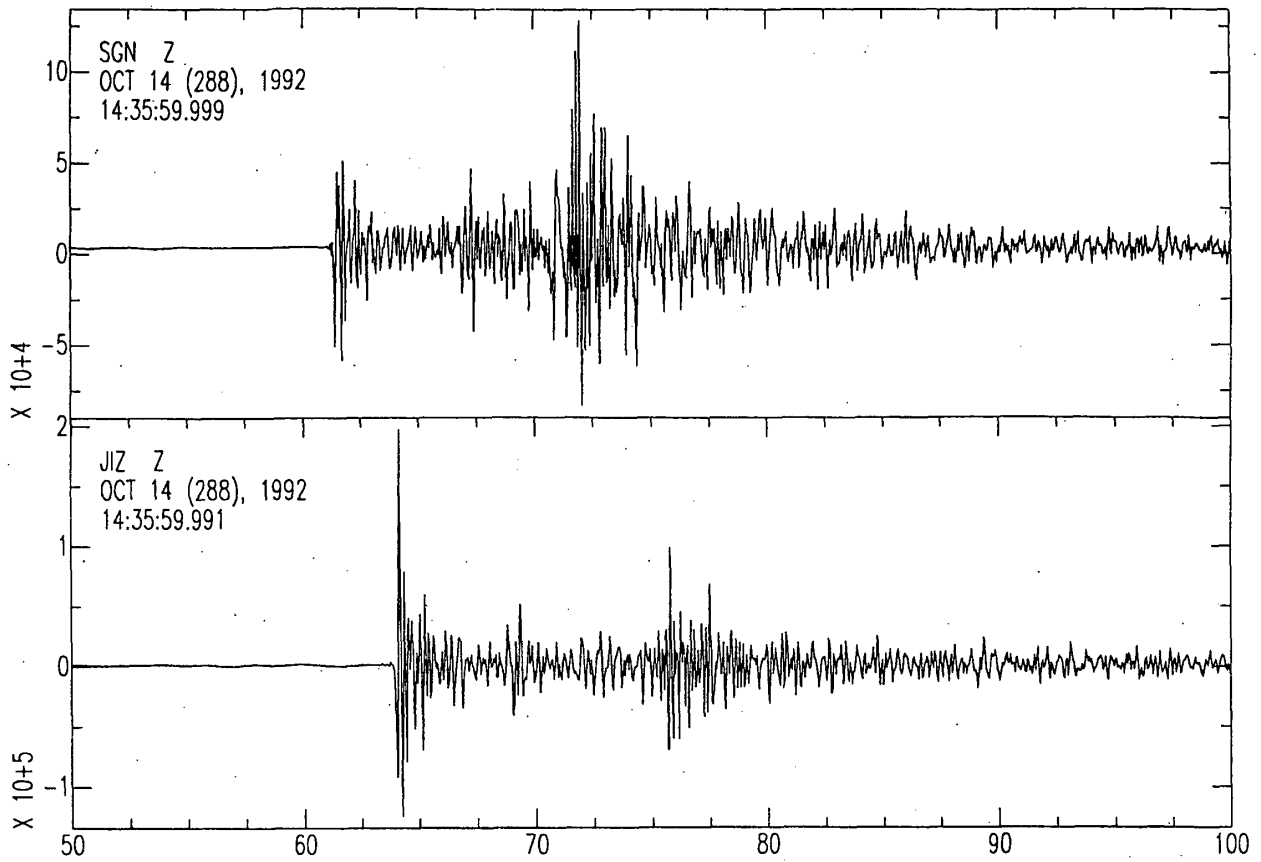
第 4 図 東京湾周辺における深さ50~65kmの範囲に発生したM3以上の地震における発震機構解

Fig. 4 Focal mechanisms of earthquakes ( $M > 3$ ) beneath the Tokyo Bay area.



第5図 第4図の範囲におけるMT図

Fig. 5 M-T diagram of earthquakes in the region of Fig. 4.



第6図 菅野 (SGN), 中伊豆 (JIZ) 観測点の広帯域地震計で観測された上下動成分波形記録

Fig. 6. Vertical component seismograms recorded at two broad-band seismic stations, SGN and JIZ.